

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

聖路加国際病院 放射線科 河内 伸江

【研究責任者】

聖路加国際病院 放射線科 河内 伸江

【研究代表者】

香川県立中央病院 乳腺センター 部長 白岩美咲

乳がん検診で検出される乳房混合性腫瘍の転帰についての研究

1.研究の対象

2016年4月～2017年3月に当院予防医療センターで行われた乳房超音波検査において要精密検査と判定されたなかで、混合性パターンを呈した方。

2.研究の目的・方法

2016年度に予防医療センターで行われた乳房超音波検査において混合性パターンを呈する腫瘍で、精密検査が必要とされた症例について検討を行います。混合性パターンとは、ひとつの腫瘍の中に、液体部分と組織のかたまりの部分の両方を有するものをいいます。現在、乳癌超音波検診において、混合性パターンを呈する腫瘍で、大きさが5mm以上の場合、精密検査が必要とされています。しかし、実際には精密検査を行うと乳癌の症例が非常に少ないことがわかってきました。そこで、カルテより、混合性パターンを呈する症例を抽出し、その後の経過や病理組織学的結果を確認し、精密検査の基準が妥当であるかどうかを検証することを目的とし研究します。今回、多施設との共同研究を行います。今後、基準を見直す際のデータとして貢献できるものと考えています。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

乳房超音波検査の画像所見、病理結果、臨床的経過 等

4. 外部への試料・情報の提供

乳房超音波検査の画像所見、病理結果、臨床的経過 等

主幹施設へのデータ提供は、主に電子的配信とし、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

- ・香川県立中央病院 白岩美咲
- ・公益財団法人 三重県健康事業センター診療所 中井昌弘
- ・公益財団法人 東京都予防医学協会がん検診・診断部 坂佳奈子
- ・公益財団法人 岡山県健康づくり財団 中川美名子